

第3回 復興教育支援事業会議

日時：2012年6月17日（日）21：00～22：30（交信テストも含む）

※Skypeを使用

役割：大野 精一（司会；日本教育大学院大学 教授）

中原 美恵（東洋大学 教授）

佐藤 一也（岩手県立大槌高等学校 副校長）

藤原 忠雄（兵庫教育大学 教授）

西山 久子（福岡教育大学大学院 准教授）

金山 健一（県立広島大学 准教授）

都丸けい子（平成国際大学 講師）

会議概要

1. 岩手県立総合教育センターでの協議・打合せの報告（6月13日，大野より）

（1）学校心理士チームと岩手県総合教育センターとの共通理解のために

①センターへのプレゼンテーション

- ・第1回合宿（5月4，5日）での「行動計画及び件数テキスト作成のための合宿検討会」での成果に基づき、「教育相談コーディネーター」像を報告された

（参照；『学校教育相談今後の展望（増補）20120606』）

- ・センターで実施している「教育相談コーディネーター養成研修」について話を伺った

②センターからのプレゼンテーション

- ・大谷（研修指導主事）から「養成研修コース（教育相談）—教育相談コーディネーター養成—」としてセンターにおける教育相談コーディネーター養成の取り組みが報告された
- ・後日，pdfにて資料が送付される予定⇒HPへ

（2）本事業総括フォーラムについての協議

①フォーラムの概要

- ・2013年2月15日（金）に生涯学習センターにて本事業の総括フォーラムを開催予定
- ・今年度，花巻市で開催される岩手県教育委員会主催の平成24年度（第56回）岩手県教育研究発表会で午前に「教育相談」分科会、午後に総括フォーラムを予定（参加者は，100名を超えると予想）
- ・学校心理士チームは全員参加予定
- ・現在，センターに教育相談の長期研修できている先生方が，分科会でポスター発表を予定している⇒センターでは，学校心理士チームからのコメントを希望

②フォーラムの内容

「本事業の総括＋特別講演（講師：森田洋二先生）＋その他」

（「その他」については，今後センターと学校心理士チームで協議を行い内容を検討）

2. 学校心理士チームの沿岸部訪問に関して

(1) 全日程の概要→予算上可能かどうかの検討も行う

- ・年度内に6回予定(4回以上実施計画)→一回目のみ確定で、それ以後の日程は一つの提案であり、ニーズ等を勘案し、必要に応じて新たに調整する。
- ・被災地支援の基本日程

【初日】 一ノ関駅あるいは盛岡駅近辺で打ち合わせ(19時～)・宿泊

【2日目】 出発(8時前後)

⇒陸前高田市の米崎中学校(要請訪問)／大槌町(定期訪問)での支援活動(午前または午後各2時間ずつ)

⇒盛岡市で総括会議(18時)・宿泊

あるいは出発(8時前後)し、逆回りで大槌町、陸前高田市を回り、一関市で総括会議(18時～)・宿泊

【3日目】 解散

- ・訪問地は、主に、岩手県大槌市(定期訪問)と陸前高田市(要請訪問)
- ・「盛岡市⇄一関市」間の送迎⇒岩手県立総合教育センターの先生にお願いする

回数	日程(訪問・支援日)	学校心理士チーム 参加者(予定) ※今後変更の可能性有	内容
1回目	8月5日～7日(6日)	大野・藤原・金山・都丸 ※藤原、中原、西山は日程調整中	<ul style="list-style-type: none"> ・内、基本日程を最低限4回実施 ・現時点では、事例検討会(コンサルテーション)を予定 ・具体的な内容や日程に関しては、今後協議を重ね、決定していく <p>【講座開設に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校からの要請を受け、実施 ・事例検討会の中で出てきた課題を踏まえ、または訪問の際に得られたニーズを踏まえ、適宜開催する
2回目	8月23日～25日(24日)	大野・金山	
3回目	9月5日～7日(6日)	大野・藤原・都丸	
4回目	10月18日～20日(19日)	大野・金山・中原	
5回目	2月7日～9日(8日)	大野・藤原	
6回目	2月24日～26日(25日)	大野・中原・西山・今西・金山・都丸	

(2) 1回目(8月5～7日): 研修講座の開催

- ・大槌中学校および／または大槌高等学校での研修講座開催を希望している
- ・教育長や教育委員会と連携し、進めていく
- ・対象: 大槌中学校と大槌高等学校合同での研修会が最も理想的だが、第一回目として現実的に最も可能性が高いのは、中学校および高等学校で参加を希望する有志の先生を対象とすること
- ・時間: 午前または午後2時間～2時間半(他に、陸前高田市の米崎中学校も訪問予定)
- ・内容: 事例検討会(学校心理士チーム各自の特性を活かしたコメントを行う)
または、事前に参加を希望する先生方にニーズ確認を行い、内容を検討することも可能

(3) 6回目(2月24~26日): 研修講座(学校心理士)の開催

- ・6回中、最も大規模となる予定←参加者(被災地の先生方)が多い
⇒最終日に学校心理士の研修講座を組み込む計画

(4) その他, 検討事項

①電子メールによる「研修講座一覧」の各学校への配布について

- ・6月末をめどに岩手県立教育センターWEBに「教育相談コーディネーター養成」ページを作成し、あわせて研修支援講師を配信予定
- ・センター等が中間窓口となり、各学校からの要望をまとめる方式も考えられる(沿岸部訪問日と重なるように、日程調整)→予算上可能かどうか合わせて検討する

②小学校, 保育園および幼稚園への支援について

- ・保育園や幼稚園の先生方への援助ニーズが高い。現在、中学校および高等学校を支援対象としているが、今後、小学校や保育園・幼稚園等への支援も検討していく必要がある
(佐藤)大槌中学校も、小学校も含めた支援を希望しているだろう
(大野)宮古地区では、保育士の先生方のニーズの高まりを受け、社会福祉協議会ではもう一度瀧野先生を講師として招聘することが決まっている。

3. 合宿に関して

(1) 全日程の概要→予算上可能かどうか合わせて検討する

【目的・研修テキストの作成】

回数	日程	打合せ内容	備考
第2回	8月18, 19日	・熱海市で開催予定 ・合宿までに報告書の構成を検討し, 分担執筆担当者を調整を行う ・2012年度学校心理士会大会(20, 21日/中部大学)において, 復興支援事業に関わる発表を予定	※中原:遅れて出席予定 ※大野:最終日まで参加可能
第3回	11月23日~25日	・盛岡市で開催予定 ・24日に岩手の先生方との研修会・交流会を予定	日本学校教育相談学会岩手支部と共催研修会実施(講師:上野一彦先生)
第4回	2月14日~16日	・花巻市で開催予定 ・15日(金)は「総括フォーラム」に参加 センターからの要望に合わせる⇒議論/パネルディスカッションの可能性	森田洋司先生の特別講演を予定

(2) 学校心理士資格取得に関する研修会の日程について

- ・学校心理士養成の一環として, 最終日(第4回)に学校心理士資格取得に関する研修会を予定

4. 「教育相談コーディネーター」について

(1) 報告書（文部科学省提出用）の内容

- ①冒頭：「教育相談コーディネーターとは何か」（大野）
 - ・『学校教育相談今後の展望（増補）20120606』を骨子とする
 - ※学校心理士会の年報にも掲載予定
 - ・教育相談コーディネーターの定義及び全体像について記述
- ②中盤：各論についての記述＋沿岸地区での支援で用いた ppt の掲載
 - ・上記骨子に沿って適宜補足説明を加える（学校心理士チームで分担）
- ③末尾：テキストの概略
 - （大野案：テキストは、「これまでの議論＋上記内容の拡充」によって構成）

(2) 「教育相談コーディネーター」のテキスト作成について

- 〈現時点での進行（西山）〉
 - ・現在、「執筆ガイドラインの作成⇒執筆役割分担のめど⇒テキストの骨子の配布と依頼文書の作成」を計画中
 - ・今後、『学校教育相談今後の展望（増補）20120606』に沿って、再度内容を調整したい

5. 予算について

- ①刊行予定：印刷費を使用
 - ・文部科学省提出用報告書（小冊子）
 - ・センターに教育相談の長期研修できている先生方の報告書／事例報告集（※本事業成果と関連する）を何らかの形で取り入れることができないかどうか検討する
- ②旅費について
 - ・学校心理士チーム等が、最大限に合宿やフォーラムに参加できるように許された枠内で予算を調整する。